

### 北海道議会議員

# 吉田ゆうき さん

# 民間経験を最大限に活かして、北海道の夢を大きく育てています！



## プロフィール

【略歴】1972年札幌市生まれ。  
 札幌市立羊丘中、道立真栄高、  
 明治学院大学経済学部卒業。  
 北海道大学大学院経済学研究科(MBA取得)。  
 株式会社北洋銀行、学校法人吉田学園勤務。  
 理学療法士。

【現職】北海道議会議員(2期)、  
 学校法人吉田学園副理事長

- 北海道議会議員
- 道議会議会運営委員会筆頭理事
- 文教常任委員会理事
- 食と観光対策特別委員会副委員長
- 自由民主党
- 自民党道連 副幹事長
- 自民党道連組織委員会 副委員長
- 自民党道連総務会 常任総務
- 自民党道連選挙対策委員会 副委員長
- 自民党道連入党資格審査委員会 委員
- 自民党北海道札幌市豊平区第二支部 支部長



## 自民党が団体政策懇談会を開催

道議会自民党・道民会議は「団体政策懇談会」を10月5日から5日間、道議会で開催しました。経済、1次産業、医療・福祉、教育、建設など45友好団体が出席し、ヒアリングに参加した吉田ゆうき道議も、諸課題の解決に向けて積極的に取り組む姿勢を示しました。



ごあいさつ

私たちの北海道は、豊かな自然と先人たちの努力により、日本の食料基地として成長を遂げ、わが国の発展に大きく貢献してきました。しかし、時代の流れとともに少子高齢化、過疎化が進行し、近い将来、道内の多くの市町村が人口減少により消滅する可能性があるという、危機に直面しています。

札幌に生まれ育った私は、教育、金融、医療、学校経営などの民間の現場を経験し、2011年に北海道議会議員に初当選しました。地域の絆がますます重要になる中、これまでの知識と経験をフル活用し、北海道と豊平区が持つ潜在力を引き出し、誰もが笑顔で安心に暮らすことができる、夢が持てる北海道の実現に全力で取り組んでいきます。皆さまの変わらぬご指導をどうぞよろしくお願い申し上げます。

北海道議会議員 吉田ゆうき

## 北海道議会議員 吉田ゆうき 事務所

〒062-0903 札幌市豊平区豊平3条13丁目2-22  
 Tel.011-811-3221 Fax.011-811-3222  
 Eメール info@yuki100.net



▲議員研修にも積極的に参加



▲議会運営委員として議会改革にも尽力



▲勉強会で司会役を務める

# LIBERAL&DEMOCRATIC 自由民主

〒060-0833 札幌市中央区南一条西1丁目1-1 自由民主党北海道本部 (札幌市豊平区)  
 (昭和30年6月15日第三種郵便物認可) 自由民主党ホームページ URL <http://www.jlmin.jp/>

豊平区版

# 国の基本は教育！子どもは地域の宝！ 体罰・いじめ・学力向上対策 教育課題に果敢にアタック！

吉田ゆうき道議は所属する文教委員会で相次ぎ質問し、体罰やいじめ、学力向上などの教育問題について取り上げました。教育再生をライフワークに据え、「子どもは地域の宝である」と考える吉田道議は、人間性を健やかに育む環境づくりに向け、全力で取り組んでいます。

## 体罰に係る実態把握について (6月2日)

**吉田道議** 道教委は教職員の体罰防止に向け、さまざまな方策に取り組んできたが、平成26年度には33件の体罰が発生した。このうち13件は事故発生時に報告されておらず、調査で新たに把握された。体罰に対する認識が不十分だと考えるが、どう認識しているか。

「厳しい指導が必要な場面もある」と考えて叩くなどの行為を「行つた事案があり、いずれも認識不足に起因している。」  
**吉田道議** 実態調査で「体罰に関する研修を受けたことがある」と回答した教職員は全体の5割程度で、すべての学校できちんと取り組んでいないものと考えられるが、認識を伺う。

総務政策局長 校内研修と明確



吉田道議



り、学校の間口と通学実態に課題があるが、特別支援教育のあり方をどう認識しているのか。  
**総合政策参事** 生徒ができるだけ身近な地域で教育を受けることが望ましく、状況を把握しながら整備を進めている。特別支援学校のセンター的機能を有効に活用し、生徒や保護者、教員などからの相談に適切に対応していく。

**吉田道議** 大綱の骨子案には「いじめ等への取り組みの充実」の項目があるが、7月に岩手県で中学2年生がいじめを苦に自殺した事件を、どう受け止めているのか。

**学校教育監** 学校内の情報共有や組織的な対応が不十分だったと報じられている。教育関係者と連携し、同様の事案の防止に努める。

**全国学力学習状況調査について (9月1日)**

**吉田道議** 平成27年度の調査結果では、小学6年生の平均正答率が全国より低かったが、見解は。

**義務教育課長** 算数Aでは分度器を使った測定、分数の割り算で全国との差が多く、5年生までの学習内容の定着が不十分である。

**吉田道議** 道教委は平成23年度に「26年度までに全国平均以上にする」という目標を掲げたが、今回の結果では10教科のうち8教科で達成できず、全国の中でも下位にある。来年度に向けた目標は。

**教育長** これまでの取り組みは一定の成果として表れているが、一層の努力が必要である。授業改善と生活習慣の確立を車の両輪としながら、すべての教科で全国平均以上になるよう取り組む。

**吉田道議** 昨年度は86市町村が結果公表に同意したが、同意数を増やし、保護者や地域と課題を共有すべきではないか。

**学校教育監** 結果を公表した市町村からは「序列化につながった」という声は聞いておらず、「生活改善や学力向上につながった」という報告を受けている。より多くの同意が得られるよう働きかけていく。

## 北海道総合教育大綱(仮称)の骨子案について(7月9日)

**吉田道議** 道は、平成27年度からの3年間を対象とし、本道の教育施策についての目標や方針を定める教育大綱の策定に取り組んでいる。ここ10年ほど、障がいを持つ学生が通う高等支援学校への進学希望者が増加してお

に位置付けた取り組みが少ないことが、要因に考えられる。全道コンプライアンス確立会議や各校への通知などを通じて、校内研修、個別研修などの実施についての指導を徹底する。

**吉田道議** 体罰の根絶に向け、どのように指導していくのか。  
**教育部長** 体罰で処分を受けた教職員への研修をさらに充実するなど、一人ひとりの認識を深める取り組みを徹底していく。

## 決算特別委員会でも的確な追及!

11月の第3回定例会決算特別委員会で吉田ゆうき道議は質問に立ち、多岐にわたる道政課題について道の見解をただしました。将来にわたり持続可能な社会の実現へ向け、的確な追及は今後も続きます。

1. 電気事業会計について
2. 工業用水道事業会計について
3. 周産期医療体制の整備について
4. 里親制度について
5. 医療分野におけるICT(情報通信技術)について
6. がん対策の推進について
7. 民泊に係る旅館業法上の取り扱いについて
8. 総合行政情報ネットワークについて
9. 交通ネットワークなどについて
10. TPPについて



吉田道議



吉田道議